


 RI会長
シェカール
メータ
専任しよう みんなの人生を豊かにするために

 まる
がめ

週報

 会員数 59名
欠席者

 出席者47名 欠席者10名 免除会員5名
天野・麻田・林・和泉享・松山・中野昌・大山・加内・曾川・橋-会員

前々回出席率 78.9% (11/25)

 2021.12.9
Vol.59
№13
(2849)

MARUGAME ROTARY CLUB WEEKLY

 会 長 谷本 順三
幹 事 石合 由明
会報委員長 藤井 紀子

お知らせ

- ∴ 12月のプログラム
2 (No.1)-年次総会
9 (No.2)-客話
16 (No.3)-会員卓話
23 (No.4)-休会
30 (No.5)-休会

- ∴ ニコニコBOX;
よいことがありました
秋山憲夫君
コレワーク四国長澤様をお迎えて
谷本君 山内君

<ニコニコ会計累積/ ¥204,000>

- ∴ がんばるBOX;
出席できなくて
尾崎君
来期プログラム委員長頑張ります
稲田君
ロータリー研究会に参加しました
夏見君
レオマ、修学旅行に行ってきます
高岡君

<がんばる会計累積/ ¥84,000>

例会場・事務局

丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F

■会長挨拶

皆さん今日は、今日は昨今半導体不足が話題になっていますが、半導体について簡単な紹介をさせていただきます。学生時代の専攻が半導体や、情報通信などが中心であったので少し近年の半導体の概要紹介を致します。

半導体の基本素子はトランジスタが基本素子となりその素子の数が基本的には半導体の性能を決定します。皆さんも40年以上前にはIC、そしてLSI等の名前を耳にした事があると思いますが、現在は40年前と比べると飛躍的にその性能が向上しています。性能はウェーハと呼ばれるシリコンの極薄板に構成される素子数によります。集積回路と呼ばれる半導体が40年ほど前に開発された頃の回路最小幅は10ミクロンでしたが、現在では16nmになっています。2025年頃にはTSMCが2nmの開発目指しています。2nmになればさらに飛躍的なCPUの性能向上が実現し、現在注目されているAIの性能が飛躍的に向上する事になります。おそらく数年後にはスマホ等の通信機器、ロボット、自動車自動運転、電気製品等の電子機器は大きな変貌を遂げていると思います。

このような半導体事業が日本国内でどうかと申しあげますと、残念ながら世界から取り残された状態になっています。1980年代には世界での日本シェアは50%でしたが今では10%以下になっています。現在の半導体の87%は台湾、韓国、中国で生産されています。世界の半導体チップの54%はTSMC(台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング)社で製造されています。半導体チップは現代社会の生命線ですが、アジア3国がサプライチェーンになっています。半導体チップはアメリカで発明され、その後1980年台から2000年頃は日本が中心になった時代でしたが、巨大な設備投資競争に負けて現在の状態になりました。数か月前にTSMCが熊本のソニーの半導体工場の近傍に半導体工場建設の発表がありました。回路幅は20nm程度の半導体との事で余り大きな期待が持てそうにないようです。20nm程度の回路幅は10年前に開発された技術であり、最先端の半導体生産の工場ではありません。

今後世界がどのように変化するかが気になる所ですが、半導体、電池等の先端テクノロジーで中国、韓国、台湾等との競争に勝てるかが今後の日本の大きな課題なと思います。

■例会事業;客話 法務省 コレワーク四国 調査係長 長澤直毅様

高いところから失礼します。法務省矯正局高松矯正管区矯正就労支援情報センター室で調査係長をします長澤と申します。よろしくお願ひいたします。モンテサービスの山内様より話す機会を設けて頂きまして、ありがとうございます。私たちコレワークと略してよんでますが、矯正を英語でコレクションといいます。矯正、中核、収集のコレクションをもじってコレワークとよび、四国ブロックを担当しているので、コレワーク四国と略称名で表現してます。私は、高松刑務所で刑務官をやってます。善通寺市の四国少年院、丸亀市の丸亀少女の家(少年院)もありますが、四国少年院で法務教官としても勤務してました。矯正局は、刑務所、少年院、少年鑑別所、拘留所を管轄してます。四国4県に刑務所があり、少年院は先ほど申した四国少年院、丸亀少女の家と、松山市に松山学園の3つの少年院があります。香川県に2つ集中しており、丸亀少女の家につきましては、ロータリークラブ様よりご支援を賜り非常にありがたく思ってます。刑務所では1分1秒気が抜けない状態で勤務しており、刑務所の工場で製品を作っています。木工関係、金属関係、墓石、コロナの関係で、ガウンやマスクも作っています。よろしければ、刑務所に作業製品を依頼してもらってもかまいません。製品は非常に特化したものもあれば、雑なものもありますが、安価な価格で発注出来ます。



(裏へ続く)

現場では大人数をたった一言で、「右向け右」と言えば右を向かす、「前へ進め」と言えば、前に行進させる。と言ったように、一つの号令で意思統一させることをやっています。言い換えれば、元々ルールを守らない人が刑務所に入ってますので、ルールに従わせるのは、すごく至難の業です。ルールを守れなかった人を守るようにするには、トラブルも多発します。右を向いてる時に、左で喧嘩が始まります。中には、数人・数十人グループで一気に入りに対して襲いかかってきます。私も剣道五段で日々鍛えていますが、大人数でこられたら圧倒的に無理です。ですから、警察と同じように手錠、警棒、いろいろな防具や盾とか刺股など機材を持っています。外面は眼光もするどく動じない姿を見せていますが、内面はドキドキして日々戦っており、ストレスがかかる現場です。暴動が起きた場合どうするか・・・非常ベルのボタン(赤い箱)が隅にあります。喧嘩や暴動があった時は、とにかく押さないと自分の身を守れません。ボタンを押せば、刑務所の職員全員が一気に集まって、押さえつけて、静止させます。日常、最低でもベルが2,3回は鳴り、多い時はもっと鳴ることがあります。それでも収集が付かない時は、刑務官4,5人で1人の受刑者を持上げて保護室へ運びます。私が入ったころ、お風呂に入ると刺青をしてる人が多くて衝撃を受けましたが、最近は少なくなってきました。65歳以上の方が3~4割しめます。1つの刑務所で約1000人入ってます。東京、大阪は3000人~4000人入ってます。高齢者が300人~400人になるとどうなるかと言うと、刑務所でしか生きていけないと言う方が入ってきます。皆様の税金が、受刑者の衣食住と医療(お医者様が常駐)、薬、健康診断に使われており、最高の介護施設となっています。高齢者の方は外に出ると仕事が無い。高齢者じゃなくても仕事が無い。仕事が無ければお金がない。3年刑期を終えて出た瞬間に高齢者の方は、スーパーで万引きをします。顕著なのは、年末年始で暖かいとこで寝たくて、食事も食べたい。生きていくために、警察に捕まって、留置所行って、拘置所行って、刑務所に入ってくるといったルーティーンになってます。刑務所でしか生きられなく、亡くなった後は身元引受もない。親戚等へ引受のお願いもするが、引取ってもらえない時は、刑務所にお墓もあり、お坊さんにお参りをしてもらおうケースが段々増えてきている。こう言った状態がいいのかとすごくジレンマがあり、生きていけない矛盾と刑務所に返ってくるのはいけないと言うことが私たちの活動の始まりです。パンフレットを開いてもらうと3倍とありますが、無職者と有職者では再犯率が3倍違うって言う数字です。二度と刑務所に戻って来ないようにするためには、出所後にすぐに仕事をして働かないとお金もなく生活もできないので、仕事先を見つけて出してあげましょう。と言うことをやると法務省の矯正局がやりました。それまでは、刑務所の中でルールを守らせて出せばいいだろう。だったのが、住むところと、働くところを提供してあげることが大事なんです。と言うことに方向転換してきました。平成28年に再犯防止推進法が可決され就労支援を取組むことになりました。理容資格や介護資格を持つなど、受刑者からのお願いもあるが、雇ってくれる企業が無ければ需要と供給が成り立たないので私たちが外に向けてお願いに行くと言うスタイルで、去年の7月にコレワーク四国が発足しました。

実際にどのようなことをしてるかと言うと、ハローワークに出所者を雇うための専用の求人を作っていただきました。一般求人との違いは、出所者を雇ってることがわからないよう非公開にしています。求人出し方は、私たちが欲しい人材の希望を聞いて、マッチする人を探し当てて、その刑務所を教えてあげ、求人票を出すようになります。その後、就労支援してる職員が求人票をマッチしてる受刑者Aさんに見せて、Aさんが希望した時は刑務所の中で採用面接をして、良ければ出所後に雇用に繋げていく流れになってます。出所者を雇うのはいろんなリスクが考えられます。最近、採用してくれる企業さんも増えてきており、顕著なのが建設や土木関係で、介護関係も徐々に増えてます。私たちが介護関係を押してる理由が、65歳以上の方を刑務所内で介護しないといけない時に、若い収容者が介護してくれます。介護の訓練をして出所させていますので、介護関係に力をいれています。なぜ丸亀に力をいれてるかと言うと、基本的に仕事が無い=住むところが無い方が多くいますが、丸亀には讃岐修斉会と言う更生保護施設があり、約半年くらい一時的に住んで働き、経済力をつけて自立していくようになっています。と言うことは、働くところは丸亀の近辺になります。更生保護施設から通勤できる範囲で理解できる企業さんを増やして欲しい要望が多いので、丸亀の企業様や商工会議所様に広報活動をしてご理解してもらってます。もう一つは、資料の新聞記事にもありますが、個別相談会をしています。雇うにはどんなリスクがあるか、どんなトラブル、どんな対応の仕方がいいのか、実際雇ってる方にお聞きしたい。と言ったことで、個別相談会を定期的に開いています。どんなトラブルがありますか?の相談が多く、警察沙汰も多々あります、問題起こします、清掃関係で物を取ったり、無断欠勤など様々なことがあることをお伝えします。自信を持って勤めた者でもガツカリすることもあります。ただ、トラブルもありますが、しっかりやってる者もいます。いい例もあれば、悪い例もありますが、コレワークで担っていますので、一度ご検討をいただけたらと思います。まだまだ、話したいこともたくさんありますが、時間ですのでこれで終わります。ご清聴ありがとうございました。